

江差・松前

ESASHI

MATSUMAE

定期観光バス

名所周遊号

旬感
千年北海道



写真は春のイメージです。 写真提供：松前町

写真は夏のイメージです。
写真提供：松前町



函館バス株式会社

江差・松前 名所周遊号 運行行程



1 北斗市 北海道新幹線、「新函館北斗駅」のあるまち

トラピスト修道院 9:10～9:25 お手洗い・お土産購買・写真撮影

1896（明治29）年創設された日本最初の男子修道院。
 現在の赤レンガの建物は、最初の修道院が焼失したため、1908年（明治41）に建てられたもので、周辺のみどりと調和したその姿は、静寂なたたずまいをみせ、訪れる人々の心を和らげています。
 今も30人ほどの修道士たちが、ここで「祈り」「読書」「労働」という厳しい戒律のもとで生活を送っています。



写真提供：北斗市

2 木古内町 北海道新幹線、最初の乗降駅のまち

JR 木古内駅 9:50～10:00 ※木古内駅での乗車がない場合は停車いたしません。

特急白鳥93号（木古内駅9:46到着）との接続



写真提供：鉄道・運輸機構

観光交流センター（イメージ）

2015年度末の開業に向け、新幹線木古内駅が順調に建設中。開業後は、駅前に江差・松前方面のバス乗り場やエリアを知りつくした観光コンシェルジュがいる「木古内町観光交流センターみそぎの郷きこない」ができるなど、もっと便利に魅力的になります。



写真提供：木古内町

3 松前町 250種 1万本の桜が咲き乱れるまち

松前城・松前公園 11:10~13:30



【松前城】

1854（安政元）年9月に完成した松前城は、旧式築城では日本最後のものであり、北海道唯一の城郭です。

戊辰戦争や太平洋戦争など幾多の危機を乗り越えましたが、1949（昭和24）年6月5日に焼失。現在の天守閣は1961（昭和36）年に再建されたものです。



【血脈桜】



樹齢300年以上の古木で松前3代名木の一つ。桜の精の伝説があり、長寿のパワースポット。

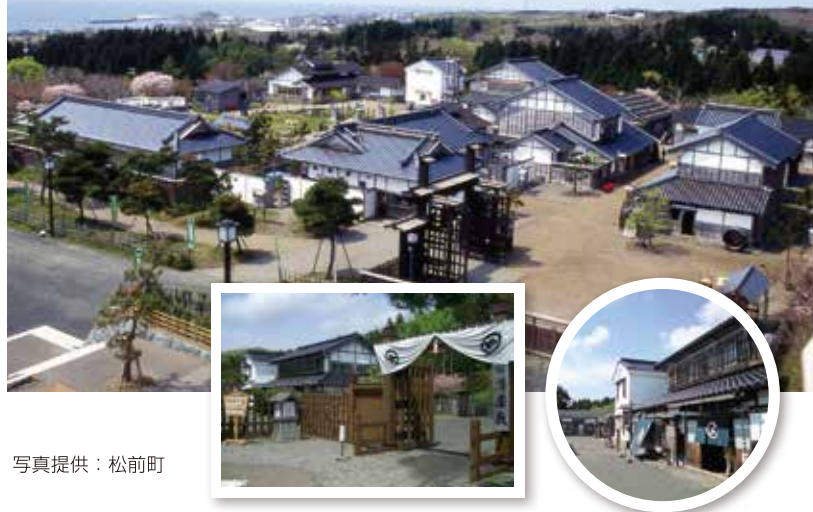
【北鷗碑林】※「おう」という字は正式には口が3個



松前町出身の書家で日本の書道文化に大きな功績を残した金子鷗亭。北鷗碑林は金子鷗亭と門人の全120基の石碑が設置された国内最大級の石碑群です。

松前藩屋敷 11:10~13:30

江戸時代の松前を再現したテーマパーク。商家や奉行所、武家屋敷など14棟の建物があり、施設に展示されている家財道具は、松前町民の方々が実際に使っていた物を展示。江戸時代へのタイムスリップをお楽しみください。



松前がよく分かる！ 「松前史跡ガイド」

※オプション（別途料金が発生します）
〈1名様：1,000円〉



琉球藩と並び米が穫れなかったことで諸藩とは異彩を放つ松前の歴史を肌で感じながら体感して頂きます。

松前町中心ガイドマップ



松前 お土産どころ

- ①あさみ商店 42-3500
松前漬、塩辛、さくら餅いか
- ②民芸松前杉 43-2439
松前杉木工品
- ③地酒の旭 42-5111
松前城、黒龍
- ④北洋堂 42-2058
お城最中、さくらロール
- ⑤川原 42-2077
桜ストラップ、小物
- ⑥中村屋 42-2162
あわび最中、いかサブレー
- ⑦北前屋 42-2891
松前漬、たこしゃぶ
- ⑧敦澤商店 42-2467
松前漬、いか塩辛、松前するめ

市外局番は（0139）

食事も旅の楽しみです。

昼食はどちらかのお店の
お料理を選んでいただき
松前の味をお楽しみください。

選べるお食事プラン

和風レストラン
浦里



あわびカレー

あわび



よねた



鉄火丼



まぐろ漬け丼

まじろ

4 上ノ国町 天の川が流れるまち

上ノ国 勝山館跡 14:25~14:45

勝山館は、後の松前氏の祖である武田信広が、15世紀後半に築いた山城で、16世紀末頃まで武田・蠣崎氏の日本海側での政治・軍事・北方交易の一大拠点でありました。これまでの発掘調査により、瀬戸・美濃焼・中国製青磁などの5万点をこえる国内外産陶磁器や金属製品、木製品など10万点余りの出土品、建物・井戸・空壕・橋などの跡が多数見つかり、館内での様々な暮らしづくりが、よみがえりました。さらに、近年、調査・研究で明らかになってきた城下町と併せて「中世都市」と呼ぶにふさわしい景観が見えてきました。



勝山館跡ガイダンス施設（外観）



夷王山の麓にあるガイダンス施設は、1470年頃に築かれた勝山館の歴史や、当時の様子などが見られる施設です。

勝山館跡ガイダンス施設（施設内）



写真提供：上ノ国町

16世紀末頃まで、政治・軍事・北方交易の拠点であった勝山館跡の当時の様子や、あゆみなどが模型や出土品、解説ビデオなどで紹介されています。

5 江差町 追分流れるロマンの町

函館市、松前町と並んで北海道で最も早く開けた地域の一つで、江戸時代には、にしんの漁場、およびヒノキアスナロなどの交易港で「江差の五月は江戸にもない」といわれるほど栄えた。また、毎年8月に行われる姥神大神宮渡御祭は370年の歴史を持つ北海道最古の祭りといわれており、遙か遠いにしん景気を現代に伝える夏の大祭として多くの人に親しまれています。



いにしえ街道散策

15:00~16:50

以下より2施設を選択して見学

江差追分会館 と 山車会館



日本を代表する民謡の王様と言われている江差追分。民謡は江差追分に始まって江差追分に終わると言われております。隣接している、山車会館には北海道最古のお祭りといわれる姥神大神宮渡御祭で使われる山車（ヤマ）が2台展示されています。

横山家



横山家は初代から現在まで二百年以上の歴史があります。初代から現在地において漁業、商業、廻船問屋を営んでいました。現在の建物は今から約160年前に建てられ、北海道文化遺産にも指定されました。

旧檜山爾志郡役所



江差の自然・考古・歴史・民族について展示している。建物は明治20年に建てられ、北海道有形文化財にも指定されている。壁や天井には豪華な布クロスが復元されています。

開陽丸

青少年研修施設



幕末にオランダで建造された幕府軍艦。戊辰戦争中に榎本武揚らを乗せ活躍したが、暴風のため江差沖で座礁し、沈没しました。同施設はオランダに残っていた設計図を基に復元されました。内部には海底に沈んでいた開陽丸から引き揚げられた遺物の約3000点が展示されており、大砲など当時の最新式の武器や和洋折衷の生活用品などもある。その他、大砲の発射音や大砲の重量などを体験できるコーナーなどもあります。



江差町旧中村家住宅

国指定重要文化財



ニシン漁全盛時代を、今に伝える廻船問屋 商家と江差の賑わい

旧中村家は、江戸時代から日本海沿岸の漁家を相手に海産物の仲買商を営んでいた近江商人の大橋宇兵衛が建てたものです。

家屋は、当時江差と北陸を往復していた北前船で運んできた笏谷石（しゃくだにいし）を積み上げた土台に、総ヒノキアスナロ（ヒバ）切妻造りの大きな二階建ての母屋、さらに母屋から浜側まで文庫倉、下の倉、ハネ出しまで続く通り庭様式で当時の問屋建築の代表的な造りとなっています。



写真提供：江差町

必ずお読みください

●予約・お申込み方法

〈お電話にてお申込み下さい。〉

お申込み先：函館バス(株)函館営業所 TEL.(0138)51-3135 (9:00～17:00)

必須項目：参加者氏名、住所、携帯電話番号、参加人数、宿泊ホテル名、乗車場所をお伝え下さい。

※弊社よりご確認のお電話をさせていただく場合がございますので、ご連絡の取れる電話番号をお知らせください。

○4月1日～ 6月30日迄 → 3日前予約制(予約必須)

○7月1日～10月31日迄 → 毎日運行(予約不要)

●乗車停留所について

〈乗車可能停留所は下記の通りです。〉

①ホテル万惣前(7:37) ②湯の川温泉(平成館海羊亭前)(7:40) ③湯の川観光ホテル前(7:43)

④花びしホテル前(7:47) ⑤啄木亭前(7:50) ⑥ラピスタ函館ベイ前(8:10) ⑦函館駅前(4番のりば)(8:20)

⑧本古内駅(10:00) ※本古内駅から乗車する際は全ての期間で必ず予約が必要となります。予約がない場合は停車致しませんのでご注意ください。

※定刻になってもお客様がバス停にいらっしゃらない場合、バスは発車いたします。

その場合、当日キャンセルとみなしキャンセル料が発生いたします。

●キャンセル料について

下記の場合はキャンセル料が発生いたします。

1. 旅行日当日の解除 旅行代金の50%
2. 旅行開始後の解除 旅行代金の100%

●旅行代金について

〈表示の料金は全て税込みです。〉

大人1名様：6,500円(4,800円) ※()は身障者料金

小人1名様：4,000円(3,200円) ※()は身障者料金

※身障者料金の適用は障害者手帳等、証明できるものをご提示してからとなります。

ご提示がない場合は通常料金となりますのでご了承ください。

※6歳以上12歳以下(小学生)の場合は小人料金が適用されます。6歳未満で座席を利用しない場合は無料となります。

但し、無料の幼児は大人1名につき1名です。食事や施設入館等によって料金が発生する場合、個人負担となります。

●旅行代金に含まれるもの

【バス乗車運賃】

【昼食代】

【施設見学科】

○江 差 町 施 設… P6の施設より好きな施設を2つ選択可能 ※3つ以上入る場合は個人負担となります。

○勝山館ガイド施設

○松前藩屋敷・松前城

※ 松前史跡ガイド料金は含まれておりません。別途料金が発生いたします。

料金は〈松前史跡ガイド：1,000円/1名〉となります。

●旅行代金のお支払方法

旅行代金は当日バスにご乗車いただく際に徴収いたします。

事前入金や各種クレジットその他サービスでのお支払いはできません。

また、各種バウチャーをお持ちのお客様はご乗車の際、バスガイドまでご提示下さい。

●個人情報の取り扱いについて

お申し込みの際に伺った個人情報につきましては、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、各施設等の提供するサービスの受領のための手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

●昼食内容について

写真はイメージですので実際の内容とは異なる場合がございます。

●災害時の対応

災害等の交通規制などで運行を取りやめる場合もありますので、異常気象時等の運行状況についてはその都度お問い合わせください。

●バス車内について

定期観光バスの車内は全て禁煙です。

タバコをお吸いの場合は、途中の下車観光地や休憩地の喫煙スペースにてお願いします。

また車内では携帯電話をマナーモードに設定のうえ、通話をご遠慮ください。



函館バス株式会社

〒040-0024 北海道函館市高盛町10番1号
TEL(0138)51-3135 FAX(0138)55-8254